

まきは

「その名を信じる人には」

「言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には、神の子となる権能を与えた。」

(ヨハネによる福音書 第1章12節・新約聖書160頁)

はじめに

アドベントの第3週となりました。今までヨハネの福音書から、まず「初めに言があった」が、神が身を乗り出すように(詩編40)「さあ、人間の救いを始めるぞ、そして、いつでも救うことができる言だぞ」との意味であることを味わいました。さらに、バプテスマのヨハネのように、その光を受けている者として、隠さず輝かせることで世の光となるのだと、私たちの使命を確認させていただきました。今日は「その言を受け入れ、信じた者」は、闇を破る光を受けるだけではなく、「神の子となる権能」が与えられることに注目したいと思います。

受け入れ、信じる

この一節から、「言」が人格を持っていることが分かります。この言とは主イエス・キリストであることを申し上げました。そのキリストを受け入れることが私たちの救いです。次に、その名を信じるとあります。この名とは「イエス・キリスト」という名前を指しているのではなく、そのひとのがどのような人であるかを指しています。天皇が押す「御璽」があります。これを押すとその文章が天皇の言葉となります。同様にヘブライ語でも、「名」はその人の権威を示すものなのです。イザヤ書に「その名は」として、「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君」(9:5)と紹介されていますが、まさに私たちは救い主イエスのこの救いをなす力を信じている、そのように覚えていただきたいと思ひます。

権能

主イエスの救いを受け入れ、主イエスがどのような救いを与えてくださるのかを信じたならば、神の子となる権能が与えられます。この権能と訳されている語は、現代風に言うならば、①法的な身分保障②特別なアクセス権③継承達成への完璧サポート体制となります。この内容が含まれている「権能」、つまり契約をいただけることとなります。

主イエスを信じた者たちは、①神がその子として認めてくださり、永遠に変わることにない保証を得て揺るがない身分を与えてくださる。それは放蕩息子のような固い父の愛でもありません。②時間待ちはありません。いつでも優先して神との交わりをすることができる特権を私たちは得ています。親しく語り合える、もはや遠慮する間柄ではないということです。③そして、私たちは神の子としてふさわしい教育を受け、きよさに向かい、愛が増し加えられ、真理によって目が開かれながら、主イエスに似たものとされていく、そのプログラムをも「ただで」受けることができるようにされていくのです。

神の子として

私たちは主イエスを信じることによって与えられた「権能」を行使し、さらに救いの素晴らしさを知る。そのような幸いの中を歩んでいることを覚え、クリスマスを迎えていきたいと思ひます。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には、神の子となる権能を与えた。」(ヨハネによる福音書 1:12)

「一人のみどりごが私たちのために生まれた。一人の男の子が私たちに与えられた。主権がその肩にあり、その名は『驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君』と呼ばれる。その主権は増し、平和には終わりが無い。ダビデの王座とその王国は 公正と正義によって立てられ、支えられる
今より、とこしえに。万軍の主の熱情がこれを成し遂げる。」(イザヤ書 9:5～6)



私は主イエスさまを救い主として受け入れました。でも、改めて、信じる者たちに神の子となる権能が与えられたという意味を知りました。そこには驚くような約束があったのだとわかり、心から感謝します。私が神の子であるということを確認なものとしてくださり、またいつでも、優先して神さまとつながる特権が与えられていて、さらに、いろいろなことにたいしてサポートをし続けてくださるとは、なんと
いう幸いなことでしょうか。あなたの深い憐れみを感謝いたします。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (84) 第4章12節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「進み行くとき、あなたの歩みを妨げるものではなく、走っても、よろめくことはない。」

◎口語訳 「あなたが歩くとき、その歩みは妨げられず、走る時にも、つまづくことはない。」

◎新改訳 「あなたが歩むとき、その歩みは妨げられず、走るときにも、つまづくことはない。」

「歩くとき 走るとき」

父は、「進み行くとき」歩いていっても妨げるような障害物がないし、走っていてもよろめかないよと教えています。

イメージとして、歩くときは「普通」の日常生活、しかし、走っているとなると、何か緊急的な出来事が起こっている場合をいうような気がします。

ヘブライ語の原語を調べてみると、ただ単にランニングをしているような運動を指すのではなく、精神的に非常に負荷がかかる状態が伴っている語であるようです。つまり、急ぎ、全力で事に当たらなければならないとか、危険な時、また逆境の時にそれを越えていくことが求められている、また緊張している局面でも使われています。ですから、走るとは、日常が一変した非常時ということができるとでしょう。トレーニングしている時には、準備運動が必要だぞとか

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

いう悠長な内容ではないわけです。

平安な日常を送っていられば良いのですが、そうはいきません。ここぞ、と言う時に、よろめくことなく、それを突破すべく確実に実行し、立ち向かえるのは、知恵の言葉しかないのです。

もう一つ。パウロがよく「走れ」と勧めているのを思い出しました。これは、私たちの使命を全うする姿勢を表しています。自分の使命を全うしようとしたときに、達成することができるようにしてくださるのは「走っても疲れない」主の言葉を待ち望む姿勢なのです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

歴代誌上第18章13節「こうしてエドムのすべての人々はダビデに隷属した。主はダビデに、行く先々で勝利を与えられた。」◆ペリシテ、モアブなど、今までイスラエルを悩ましていた列強国に勝ち続けるだけではなく、貢ぎ物を納めさせ、隷属関係を確立できたのは力があつた証拠である。神は私たちにさまざまな幻を見せてくださる。「このようになればよい」と思ったならば、それに対して積極的に祈るべきである。「得たりと信ぜよ。さらば得るべし」マルコ11章にある。「すでにかなえられたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになるであろう」の信仰である。

●賛美／87 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

歴代誌上第19章19節「ハダドエゼルに仕えていた人々は、自分たちがイスラエルに敗れたと分かった、ダビデと和を講じ、彼に隷属した。」◆ダビデはアンモン人に対し好意的に扱おうとしたが、彼らはダビデに反逆、そのことでダビデが攻めてくるであろうと判断し、アラムから兵を雇い入れた。同盟関係を結んだが、ダビデの力はそれを上回り、アラムはアンモンとの同盟を解消し、ダビデと和平を結んだ。世の中の人々は様々な策略をもって私たちに迫るが、神はそれらを次々と打ち砕き、おなしいものとし、恥をかかせてくださる。

●賛美／88 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

歴代誌上第20章2節「これはダビデの頭を飾るものになった。ダビデはこの町からおびたしい戦利品を持ち出した。」◆ヨアブ率いるダビデ軍はアンモンの都ラバを滅ぼした。だがこの激戦でひとりの勇敢な兵士が死んでいる。ウリヤだ。ダビデはこの時エルサレムにいた。彼の妻、バト・シエバと姦淫を犯したことを隠すため、ヨアブに命じ、ウリヤを最も激しい戦闘場所に送れと命じていたのだ。ダビデが神の前に最も高ぶっていた時期だった。王冠をかぶりご満悦になっていたダビデ。どんな時でも神をほめたたえることを忘れてはならない。失敗する。

●賛美／89 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

歴代誌上第21章1節「サタンがイスラエルに対して立ちはだかり、イスラエルの人口を調べるようにダビデを唆した」◆ダビデはいくつか失敗をしているが、この記事もその一つである。数を数えるとは、ここでは自分の力を誇ることと同等の意味を持っている。ダビデはあまりにも順調に建国が進んだことで、慢心していた。そこにサタンが入り込んだのだ。「そそのかした」とある。ダビデは悔い改めるに到ったが、代償は大きかった。私たちもダビデ同様、祝福をいただいている。そそのかされても高慢にならず、神をあがめることを片時も忘れてはならない。

●賛美／90 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

歴代誌上第22章5節「こうしてダビデは死ぬ前に多くの準備をした。」◆ダビデは「多くの血を流した」として、神から神殿建築の許可を得ることができなかった。だが、それで何もしなかったのではない。神殿建築に必要な人員、資材、資金すべて調達し、あとを継いだソロモンは、ただそれをもって工事を監督すれば良かっただけなのだ。つまり、ソロモンの神殿とはいうものの、ダビデが建てたも同然だった。私たちは何かの準備を託されているはずだ。それが陰の仕事であっても、主は覚えてくださっている

●賛美／91 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

歴代誌上第23章2節「イスラエルの全高官、祭司、レビ人を集めた。」◆ダビデが年を取って最期の時を知り、ソロモンに王の座を譲った。このとき、ダビデが重視したのは兵士ではなく、神殿に仕える者たちであり、その者たちにまず告知した。何しろ、彼は石投げだけでペリシテに立ち向かった人物である。神の力があれば、勝利がもたらされると信じ切っていた。だからこそ、全力で主をあがめようとしたのだ。4千人の聖歌隊はどのようなさんびを響かせていたのだろうか。私たちの戦いの武器は戦車ではない。神を賛美すること、礼拝することである

●賛美／92 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

歴代誌上第24章3節「ダビデは、エルアザルの一族の一人ツアドクと、イタマルの一族の一人アヒメレクと共に、それぞれに与えられている奉仕の役割に応じて、アロンの一族を組に分けた。」◆神殿ができることを前提としてレビ人の改編を行った。24ある祭司の組のそれぞれが2週間ごとと神殿の勤めにつくが、それ以外は自分の町で祭司職を務める。だからこそ細心の注意を払って仕えることができたと思う。私たちもなれ合いではなく、常に緊張感をもって礼拝をささげるべきだ。ちなみにバプテスマのヨハネの父、ゼカリヤは第8のアビヤの組に属していた。

●賛美／93 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【ルカによるふくいんしよ 2:1~20】

「ひつじかいたちの れいはい」

(ルカによるふくいんしよ 2:11)

じぶんのくになが ローマという おおきなくににとられてしまった ユダヤのくにのひとたちは、じぶんのくににいながら、ローマのくににたくさんの ぜいきんを おさめなければならぬなどの きまりをまもらされ、とりしまっている ローマじんのへいしにいつもいばられ、いじめられるようになっていました。

いかつはくるしく、こころも くらくなっているとき、たみたちが まちのぞんでいたのは、きゅうやくせいしよによげんされていたすくいぬしがきて、すくってくれることでした。

そんなじだい、ユダヤのたみたちのなかで、いちばんたいへんなしごとをしていたのはだれかわかりますか？ひつじかいです。

ひつじかいはひつじのせわをするのですが、いちばんたいへんなのは、ひつじがにげないように、またとられないようにばんをする

ことです。いっぴきでもにげたら、ごしゅじんにべんしょうしなければなりません。でも、おかねがないひつじかいは、はらえないので、そのぶん、はたらかなければならなくなります。よるにどろぼうがくることもありますから、よるもねられずにひつじといっしょにそとでねていました。

そんなよるのこと。とつぜんてんしがあらわれ、「きょう、あなたがたのためにすくいぬしがうまれる！」。おどろくひまもなく、てんがかがやき、たいさんのいさましいゆうしゃ、てんしがてんにあらわれ、こういいました。「いとたかきところにはえいこうかみにあれ。ちにはへいわ、みこころにかなうひとにあれ」。

すくいぬしがうまれたニュースは、いちばんたいへんで、くるしんでいたひつじかいにさいしよにしらされたのでした。

ひつじかいたちは、さいしよはびっくりしましたが、よろこんで、うまれるといわれたダビデのむらにいき、あかちゃんのしゅイエスさまを れいはいしたのです。

●かんがえてみよう

☆ひつじかいにてんしがあらわれたとき、ひつじかいたちはどこにいましたか。

(ルカ2:8)

☆てんしはさいしよに「おおきなよろこびをつける」といいましたが、それはなんでしたか。(ルカ2:11)

☆ひつじかいたちはてんしのおつげをきいて、どうしましたか。(ルカ2:16)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

ちのみごをさがした

				み	た			
	を					み		の
ち			し					
			の				ち	み
ご	が			さ	み	の	た	し
し	の			ち	が	ご		さ
を	た	ご	ち	の	さ	し		
さ	し	の	み			ち	ご	た
		が	ご	た	し	さ	の	を

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① いねてるみちのご
- ② おかばいけ
- ③ ころびよ
- ④ ぐんたい

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「学問のすゝめ」

司馬遼太郎の『坂の上の雲』は、松山出身の3人の青年を通して、幕末から明治にかけての激動の時代を描いた名著です。当時世界最強と言われたロシアのコザック騎馬軍団を破り、日露戦争を勝利に導いた一人でもある秋山好古(よしふる)は、松山藩の下級武士の家に生まれたのですが、日本のために戦うとの待望を抱いたきっかけになったとして出てくるのが『学問のすゝめ』でした。

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず

といえり」は有名な一節です。「位も地位も関係ない。人間は生まれながらにして平等である。平等であるからには、自分で何をすべきか考えることから初め、自分で行動できなければならない」。福沢諭吉はアメリカの独立宣言に影響を受けたとも言われていますが、幕末の日本では考えられない思想でした。武士でさえも上級下級があつて惨めな生活を強いられていた秋山は、この言葉に感化され、自ら行動し、東京の陸軍士官学校に入り、近代日本の道筋をつける一人となります。まさにルネサンスです。今まで農奴として領主に縛られていた民衆が、それぞれの独立を目指し、階級制度の殻を打ち破っていく。

神の前の平等は、自分が何をすべきか、そしてそれを行動に表していくことでもあらうと思います。

聖書ふれあい街歩き

●テーベ

世界遺産の中でもエジプトは人気があるようです。行くならば、まずクフ王のピラミッドやスフィンクスがあるカイロは外せませんが、その次に挙げるのはルクソールではないかと思えます。ルクソールはナイル川の中流域にあり、ルクソール神殿、カルナック神殿、王家の谷などの巨大建造物が存在しています。このルクソールが最盛期を迎えたのはBC1500～1000と言われているので、旧約聖書の時代には存在していたこととなります。とすると、その記述があるはず。そう、あるんです。

名前はテーベ。ヘブライ語ではノ・アモン(アモン神の都市)と呼ばれてもいます。ツタンカーメンのアーメンはアモン神の「アメン」で、「アモン神の生き写し」という意味だとか。だから巨大神殿もあったわけで、いずれにしても、ここは宗教都市でもあったわけです。

ナホム書 3:8 に取り上げられているのは、二ネベに対する預言の中で、「おまえは、ナイル川のかなたのテーベ(アモン神の総本山)にまさるのか。テーベはナイルに守られ、強大な軍事力も持ち、非常に強固な町だったが、滅びたんだぞ」と、力に頼る愚かさを諭した部分になっています。

ななめ聖書 先週のこたえ

る	か	ら	た	ぞ	に	ん	れ	せ
た	ん	ぞ	ら	れ	せ	か	る	に
に	れ	せ	か	ん	る	ら	た	ぞ
れ	る	た	ん	に	ぞ	せ	ら	か
か	ぞ	ん	せ	ら	れ	た	に	る
ら	せ	に	る	か	た	ぞ	ん	れ
せ	ら	る	に	た	か	れ	ぞ	ん
ん	に	れ	ぞ	せ	ら	る	か	た
ぞ	た	か	れ	る	ん	に	せ	ら

- ① おおいなること
- ② ひくいもの
- ③ うえたひと
- ④ つかえめ

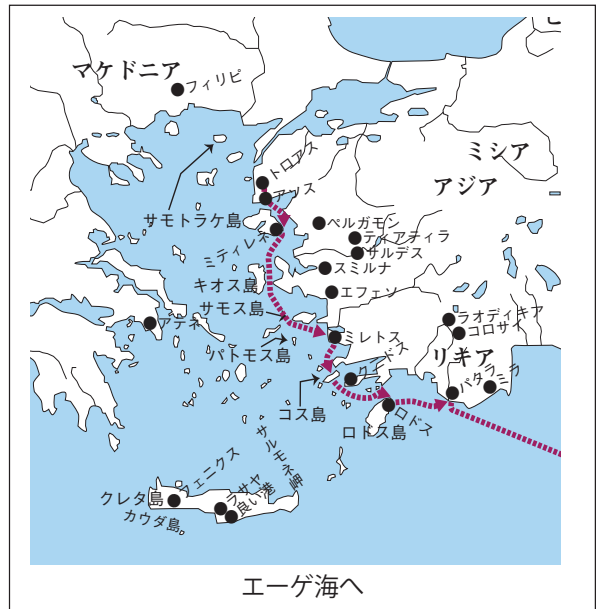


海路の移動

私たちは人々に別れを告げて船出し、コス島に直航した。翌日ロドス島に着き、そこからパタラに渡り、フェニキアに行く船を見つけたので、それに乗って船出した。

やがてキプロス島が見えてきたが、それを左にして通り過ぎ、シリア州に向かって船旅を続けてティルスに入港した。ここで船は、積み荷を降ろすことになっていたのである。

私たちは弟子たちを探し出して、そこに七日間滞在した。彼らは霊に促され、エルサレムに行かないようにと、パウロに繰り返して言った。」(使徒言行録21:1~4)



【ローマの信徒への手紙】

第3回目の伝道旅行の帰路は島に經由しながらでした。

さて、エルサレムに着く前に、触れておかなければならないものがあります。ローマの信徒への手紙です。パウロの手紙はいつ、どこで、何の目的で書かれたのか、考え方の相違によってかなり違ってきます。もろもろある学説を比較し、自分が納得し、指示できる説を選んでいますが、ただそれでも、疑問の余地がありますので、ご承知おきください。

ローマの信徒への手紙は、この旅行の過程で書かれたであろうと思われています。それは、献金を携えてエルサレムへと向かっていることでわかります。手紙の中で「しかし今は、聖なる者たちに仕えるためにエルサレムに行きます。マケドニアとアカイアの人々が、エルサレムにいる聖なる者たちの中の貧しい人々を援助することに喜んで同意したからです…募金の成果を彼らに勝つ実に手渡したら」(15:25~28)と記されているからです。使徒言行録24:17では、エルサレムに戻ってすぐ、フェリクスに対し「私は、同胞に救援金を渡すため、また、供え物を献げるために、何年かぶりかで戻ってきました」(24:17)と、それを裏付ける証言をしています。

次に、どこで書かれたのか、です。この第3回目の旅行では、エフェソで二年以上にわたって滞在し、伝道していたことがわかりますが、ここではまだマケドニアには言っておらず、ローマへの手紙で書かれた内容とはずれてしまいます。

すでに紹介しましたが、エフェソの滞在時期に書かれたのは、コリントの信徒への手紙であり、

ローマに送った手紙はそのあとということになります。

ローマの様子はエフェソにいた時にもパウロに伝わっていたでしょうが、もし、詳細が分かっていたら、パウロのことであれば、その時すでに手紙を書いていたでしょう。つまり、エフェソを出発してからローマの信徒たちの動きを知ったはず。そうなると、マケドニアでは短期間で移動していることがわかりますので、落ち着いた時期に、となると「ギリシアに来て、そこで三か月間過ごした」(使徒20:3)時が、最も有力になります。このギリシア三か月間は、紹介したように、それまでの教会にあった問題の解決(コリントの信徒への手紙)や、重要都市であることから、コリントに滞在したとするのが自然です。またエフェソよりもローマに近いので情報は入りやすかったはず。そのようなことから、ローマの信徒への手紙はコリントで書かれていた、さらに付け加えるならば、コリントの信徒への手紙よりも何か月か遅い、57~8年であると考えます。ても会いたかったのだということがわかります。

では、なぜこの手紙を書こうとしたのでしょうか。詳しくは次回に触れようと思いますが、簡単にまとめると、手紙の内容から次の理由が考えられます。まず、自分の紹介を含め、パウロ自身が熱望していたローマ訪問の意思を伝えたかったこと、有力な指導者がいないことがわかったので、福音がどのようなものなのかを体系的な教理(神学)によって説明したかった。そして、パウロはローマは通過点であり、さらに西、イスパニア(スペイン)宣教のビジョンを示し、何らかの協力を準備してもらいたかったこと、などです。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙二5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙一15:51など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

